



銅象山通信

第
25
号



浅野学園同窓会会報

2022年度版

発行日：2022年12月1日 発行人：浅野学園同窓会

ご挨拶

浅野学園同窓会 会長
湧井 敏雄 (45期)



コロナの猛威が続く中、皆様にはいかがお過ごしでしょうか。今まで経験したことのない状況のもと、浅野学園は2020年に創立100周年を迎えました。同窓会でも、2回にわたって延期を余儀なくされましたが、本年6月の総会に合わせて、200余名のご参加を得て「100周年記念懇親会」を開催し、これまでの母校の歴史とお互いの健闘をたたえあうとともに、次の100年に向けた決意を確認しあったところです。

一方、国内では人口の減少、世界的にはロシアのウクライナ侵攻と世界的なインフレの高進、さらには異常気象など、学園を取り巻く内外の環境は、10年前とは様変わり、まさに激変の時代に突入したかに思えます。これからの時代は、これまでも増して、先例や公式・モデルのない、各々のキャリアを自分で考え自己責任で作りに上げていく時代です。学園は、まさにそのような「人材」を一貫して社会に供給し続けてきたことで、今日の地位・名声を勝ち得てきましたが、これからの時代、さらにその重要性は高まるわけで、浅野は今後も「人材輩出校」として進化し続けると確信しています。

こうした中で、同窓会は次の100年に向け何をなすべきか、総務・財務・懇親・広報の各委員会で検討を開始していますが、昨今、社会活動には「コンプライアンス」、「説明責任」、「SDGs」など、様々な形で新しいルールが設定されています。同窓会も、同様の要請に応え、大実業家である浅野総一郎翁が設立した学園の同窓会にふさわしい体制を、まず整えていく必要があるのでは、と考えています。

また、言うまでもなく、同窓会の目的は「卒業生相互の親睦と学園の一層の発展」をはかることであり、卒業生相互の親睦活動の柱は各年次の同期会です。ただ、各年次の同期会相互の連携についてはやや手薄であり、これを補う方策の一つとして、一昨年、「各年次の幹事」を再設定していただきました。今年の総会の前に、幹事の方々にお集まりいただきましたが、今後継続的に同窓会から幹事に情報を提供することにより、「浅野学園卒業生の期を超えた一体感」を醸成してゆきたいと思っています。

浅野中学・高等学校長
古梶 裕之 (61期)



卒業生の皆様、こんにちは。学校長の古梶です。

先日、学校の創立100周年を祝う同窓会総会が、盛況のうちに執り行われました。楽しいひと時でありました。たくさんの懐かしい人たちと再会しました。同級生、担任した卒業生、一緒に合宿に行った部員OBなど、時間は一瞬にして当時に戻り、昔話に花が咲きました。

このような会を開催できるのは実に3年ぶりのことです。集まる機会が減って改めて感じるのは、人が集えることの有難さです。今後は少しずつでもこういった機会が増えることを願わずにはられません。

最近、同期会をやりたいので名簿を貰えないか、というご相談・ご質問を数多くいただきます。これには個人情報の扱いが関わります。本校でセキュリティーを担当する情報科の教員に確認をしたところ、重要な情報の取り扱いに当たるので、きちんとした組織としての運営が必要でしょう、とのことでした。事情をご斟酌いただき、今しばらくお待ちいただければと思います。

さて、学校では引き続き新型コロナウイルス感染予防(毎朝の検温、マスクの着用、手洗いの励行、黙食など)を生徒諸君にお願いをしていますが、彼らは実によく、協力してくれています。生徒たちの日々の努力には頭が下がる思いです。

この第1学期は、学校行事、校外行事を予定通りにすべて実施することができました。生徒たちは行事を通して成長していきます。それは先生方も同じです。その意味で行事は大切だと再認識しました。できることを安全に、一つ一つ実施してまいります。6月の高校二年の研修旅行は、九州と中国(関西)地方の2コース分けて実施し、九州コースでは飛行機を利用しました。いろいろと制約の多い状況下ではありますが、生徒にとってよりよい研修旅行となるよう、少しずつ新たな取り組みも進めております。

まだまだ、落ち着かない日々が続きます。同窓生の皆様におかれましても、どうぞご健勝にお過ごしください。

浅野中学校・高等学校の近況報告

2021年度 部活動 活動報告



コロナ禍にあっても、各部活動は多方面にわたり活躍しています。

同窓生の皆様、現役の生徒に対するご支援をよろしくお願い致します。各部の具体的な実績は、左のQRコードから「浅野学園同窓会ホームページ」浅野学園部活動報告2021をご確認ください。

浅野学園の進学指導・進学実績



浅野学園の進学指導・進学実績に関しては、左のQRコードから「浅野中学校・高等学校ホームページ」をご確認ください。

じっくりと時間をかけて自立を見守る。浅野の進路・進学指導。

- ・教職員全員で生徒一人ひとりの自立を見守る「めんどうみ」
- ・第一志望の大学への進学を実現する「進学指導」
- ・進学実績（2022年度実績・過去5年間の推移）

2022年度大学入試結果についての総括

メディア露出



柔道部は8月24日にウクライナの学生と合同練習を行いました。今回の練習では、元全日本監督の井上康生先生と羽賀龍之介選手からご指導いただきました。今回の経験を糧にして、浅野学園柔道部はさらに精進して参ります。また、合同練習を通じて培った絆を、この先も大切にしていきたいと思います。（ニュースに多数取り上げられました。）



THE名門校に取り上げられました。

2022年5月16日（月）夜10時

「神奈川・浅野高校…校訓は九転十起？化学五輪日本代表も」

バックナンバーは左のQRコードから

今年4月から放送されたテレビ朝日の木曜ドラマ『未来への10カウント』では、脚本家から本校ボクシング部が数回に渡り取材を受けました。「今の選手へのアドバイスの意図を教えてください。」等の質問があり、顧問の先生が丁寧に回答致しました。ドラマ主演の木村拓哉さんの台詞に活かされたとのこと。（エンドロールに学校名が出ました。）

NHKテレビ「プラタモリ」（#203「横浜・川崎」初回放送2022年5月21日）で、浅野総一郎翁が紹介されました。

「横浜・川崎は東京湾をどう進化させた？」

京浜工業地帯を生んだ実業家・浅野総一郎の壮大な計画とは！？



浅野学園創立100周年記念総会・懇親会

日時 2022年6月11日（土） 会場 ホテル横浜キャメロットジャパン





浅野学園創立100周年記念総会・懇親会を振り返って

2年越しの思いが叶い、浅野学園創立100周年記念総会・懇親会が2022年6月11日に開催されました。

2020年6月の当初の開催予定が翌年に延び、さらに本年2022年6月にと正にコロナ禍に振り回され続きの2年間でした。

そのような状況下でも同窓会役員一同の「開催する!」という強い意志と『九転十起』を体現する様な行動力により無事に当日を迎えることが出来たと思っています。

今回はコロナ禍での開催となり、出席者数が全く予想

できず、返信ハガキが届くまでは、不安な日々でした。しかしながら、数日後には忽ち200名を超える出席数となり、驚き、喜びもつかの間、今度は会場や宴会の形式変更等に追われる嬉しい悲鳴の日々となりました。これも今となつては、良き経験をさせて頂いた大切な思い出です。

“創立100周年”という浅野学園同窓生の思いの結集が無事に終わることが出来たことを同窓生の皆様に感謝しつつ、次なる200周年に向けて役員の一人として、さらなる力添えが出来るよう努めていきたいと思っています。

親睦委員長 佐藤 義賢 (52期)

同窓生の近況



ヒデズカフェ店主
山口 秀男 (38期)

横浜市中区弁天通で小さな居酒屋を経営しています。浅野の同級生で放射能中和の研究をしていた東大卒の友達がいまして。彼は私に「放射能が中和されなければ、原子力は絶対使用禁止だ。」と常々話していました。しかし、彼らの研究は置き去りにされ、3.11の原発事故に繋がります。彼は原子力中和研究から外され、名古屋大の講師になり癌で亡くなりました。もう1人の同級生は40歳で参議院議員になり、犯罪被害救済法に取り組み法律化しました。彼も44歳で癌により亡くなりました。彼らが生きていたら、世の中が変わっていたかもしれません。私は生き永え、現在に至っております。居酒屋を経営し15年になります。その間、色々な方と巡り合いました。浅野の先輩・後輩・先生、芸能人、色々な方とお会いできる仕事です。この居酒屋でお会いできる方々に、自分の経験した失敗・成功・歴史をお話ししています。浅野高校時代の仲間も毎年少なくなっており、寂しい限りです。多分、寄稿者の中で最高齢だと思いますが、今後ともよろしく願いいたします。



本牧イタリアンガーデン (IG) 店主
八木 弘之 (50期)

まず初めに、在学中4年間担任としてお世話になった関谷先生に、最上級の御礼を申し上げさせていただきます。又当時、先生の教えにのりくらしと時を経てしまった事、この機会に心よりお詫び申し上げます。大学を経て社会に出れば、与えられた仕事は命懸けで結果を出さねばならず、又部下を叱るのがどれほど労を要する事であることか、身をもって気づきましたのは四十歳になった頃。思えば在学中、私は多分に御苦労を掛けた生徒の一人でありました。が、お陰をもちまして、様々な社会勉強を経て、現在七十年の歴史のある店と、三年前に新しく開店した店と、二軒の飲食店を営み、また横浜の食の文化を構築する事を生業として、全国から来ていただくお客様や、学園在学中からの親友はじめ今まで出会った多くの友人、そして家族に支えられ、楽しく忙しい日々を過ごしております。本校に入学出来て良かった！そして死ぬまで働きます。楽しみながら真剣に！！



エムズワークス 建築家
松永 基 (53期)

仕事についての原稿依頼。そこで少し仕事について考えてみました。僕の事は「建築家で一級建築士」。では建築家と建築士は何が違うのでしょうか？一般的には建築家は職能、建築士は資格とされています。もう少し詳しく書くと、建築士を持っていて、その能力を職業としている人を「建築家」と言うのだと思います。例えば建築士でも、不動産業や役所に勤務している方、大学の先生などは建築家とは言わないのではないのでしょうか。組織でも日本建築家協会と建築士会があります。僕は日本建築家協会と神奈川建築士会（建築士会は県単位）に所属しています。建築士会を全国で纏めているのは日本建築士会連合会（Japan Federation of Architects & Building Engineers Associations）。「建築家」と「エンジニア」と言う2つの言葉が入っています。

建築家は芸術的なセンスと、技術的な考え方が必要です。とても素敵な仕事です。士業（弁護士・整備士など）と比べると分かりやすいのですが、家業（画家・書道家・作家）は芸術が求められる仕事だと思います。建築家と言う仕事はとても魅力的です。その反面責任と決断力も必要です。僕は建築家と言う仕事が好きですし、誇りを持っています。それはとても幸せなことだと考えています。

浅野は僕らの時代は自由でした。美大・医大・芸術系・文学部。その中で僕は、理工学部の建築学科を選択しました。その時からこの道に乗ったのだと感じています。浅野を卒業してから45年。建築と出会い建築家として仕事をして来られたことに感謝して、今後も良い建築を作っていきたいと考えています。これが、僕が仕事について考えた事です。



関東学院六浦中学校・高等学校
社会科教諭
澤 章敏 (57期)

1980年3月卒の61歳。私立中高の社会科教員をしています。数年前に系列小学校に出向し校長を務めました。本年6月に同期友人（当然61歳）の結婚式の際、友人たちが私を「校長」と呼ぶのをご夫君方は渾名と疑わず本当の校長とは信じてくれませんでした。今は校長任期を終え「世界史」を教えています。

小学校長のとき、入学希望の保護者に「お子さまにどんな財産を残しますか？」と必ず投げかけました。不動産やお金は何かあれば無くなってしまう、けれども教育は失われることはない。だから「良質な教育環境を準備することこそが子に残せる最大の財産」と私は考えています。浅野で学び先生方はもちろん、同期の友人、部活動などの先輩後輩から計り知れない財産をいただきました。そしてそのような環境を与えてくれた今は亡き両親に感謝しています。

『銅像山』やFacebookをいつも楽しみにしております。同窓会役員の皆様のご奉仕ご尽力にこの場を借りて感謝申し上げます。

(1980年3月卒、中学サッカー部、高校ボクシング部所属)



横浜銀行頭取
片岡 達也 (62期)

皆さん、こんにちは。

私は1985年に卒業後、東京理科大学を経て横浜銀行に入社し、この4月から横浜銀行頭取を拝命しました。

4月以降は頭取として多くのお客様にお会いし、課題をお聞きしながら一緒に解決策を考えるという日々を過ごしていますが、お客様の中には浅野のOBの方も多く、とても嬉しく思います。またお客様から「頭取って北大路欣也みたいな人が来ると思ったけど、全然違いますね」と言われることもよくあります。TVドラマの影響力はすごいですね(笑)。

さて最近、サステナビリティという言葉を目にすることが多くなりましたが、銀行の経営においても目の利益だけを追い求めるのではなく、地域社会の持続的成長に資する取り組みが求められています。

まだまだ頭取としては新米ですが、一人ひとりの行員、お客様と向き合いながら、地域金融機関として神奈川を中心とした地域と共存共栄を図っていくよう汗をかいていきたいと思っています。



川崎フォース法律事務所所長 弁護士
小川 敦司 (74期)

皆さま、こんにちは。2022年6月から浅野学園同窓会に広報委員として参加させて頂くことになりました74期(青バッジ)の小川敦司と申します。

JR川崎駅の西口徒歩3分にある法律事務所を経営する弁護士です。

業務内容としては、中小製造業やIT業、その他の業種の中小企業支援(契約書、債権回収、労務、遺言相続や株式対策を含む事業承継のサポート、日常の法律顧問業務)などがメインです。その他地代や家賃回収、建物収去土地明渡、マンション管理などの不動産事件も取り扱いが多いのが特徴の一つです。

最近裁判所もウェブ期日の活用で実際に地方の裁判所に出向く機会も減りましたが、仕事での楽しみの一つは地方出張。そして、地方に出張するとほぼ必ず行るのが現地での朝ラン(ちなみにフルマラソンベストは2019年に3時間5分)。朝ランするだけでその日の仕事も心を落ち着けて臨める気がします。

皆様今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



独立行政法人地域医療機能推進機構
埼玉メディカルセンター 整形外科
鎌田 泰裕 (82期)

みなさま、こんにちは。鎌田泰裕と申します。気がつけば早いもので、浅野を卒業してから17年になりました。

私は今年の3月まで、慶應義塾大学病院整形外科で脊髄再生の研究に携わっておりました。脊髄損傷とは、交通事故などで神経にダメージが与えられた結果、永続的な麻痺を起こすもので、医学が進歩を遂げた現在でも、有効な治療法は確立しておりません。私たちの研究室では、長年にわたりiPS細胞から神経細胞を樹立し、損傷脊髄への移植に取り組んで参りました。そしてついに昨年の12月、世界で初めて脊髄損傷の患者さんに移植を行いました。臨床研究は現在も継続しておりますが、脊髄再生医療の実現が近づいてきていることを感じております。

この4月からは、浦和の埼玉メディカルセンターで脊椎を専門とした整形外科医として働いております。お近くの同門の方がいらっしゃいましたら、お気軽にご相談ください。

以上、簡単ですが、近況報告をさせていただきました。時節柄、ご健康には一段とご留意のほどを。



アクセンチュア株式会社
御代川 純希 (87期)

以下の英文に見覚えはありませんか? 高校の英語の授業でたまたま出会った一文です。

"A sense of humour leads you to take pleasure in the discrepancies of human nature; it leads you to mistrust great professions and look for the unworthy motive that they conceal"

これはモームの『サミング・アップ』からの抜粋です。「ユーモアのある人は綺麗事の裏に良からぬ動機を探すのだ」と。

私はこの一文を今の今まで一度も忘れたことがありません。こと仕事の場に関しても同様です。

地位が高い方ほど「もっともらしい」動機で判断を下されますが、そこにはやはり「良からぬ動機」が往々にして潜んでいるように、私には思えます。(在期中に手柄を立てたいプライド、定年までのあと数年を波風立てずに逃げ切りたい…)

いみじくもモームが言うように、“There is not much to choose between men”なのでしょう。

同期会開催等について

浅野学園同窓会では、各同期会の開催を応援しています。

【同期会開催の注意点】

各学年の同期会開催に当たり、開催のお知らせ・報告を、SNS・会報誌等に掲載することができます。またフェイスブックグループ「銅像山通信」への掲載は各幹事よりお願いできればと思います。

【住所変更登録のお願い】

住所等の変更が判明した場合は、ご本人様から浅野学園同窓会ホームページに名簿変更の申請をしていただきますよう宜しくお願い致します。



会費の改定について

日頃は、浅野学園同窓会の会務運営に際しまして、会員の皆様方の多大なるご理解とご協力を賜り、心より感謝致しております。この場をお借り致しまして、深く御礼申し上げます。

当会の年度会費並びに終身会費は約30年以前の改定以来、数次の消費税増税や郵便料金値上げ等にも関わらず、長年会費を据え置いたまま運営をして参りました。

しかしながら、会員の高齢化や年度会費納入者数の減少傾向が近年は顕著となり、慎重な予算執行のみでは今後同窓会活動に不可欠である健全な財務基盤の維持が困難になることが予測されます。

つきましては、過日開催されました同窓会総会にて、会費の改定（年度会費：2,000円→3,000円、終身会費：

21,600円→36,000円）を提案し、承認されました。来年度より、会員の皆様におかれましてはご負担増となりますが、諸般の事情をご賢察頂き、ご理解を頂くとともに、引き続きご支援とご協力を是非賜りたいと存じます。何卒宜しくお願い申し上げます。

財務委員長 西田 慎也（65期）

【年度会費 お振込先口座の追加について】

2023年度より、下記金融機関を追加致します。お振り込みの際は、振込依頼人名を「卒業年（西暦）+お名前」として頂けると、大変助かります。

横浜銀行 大口支店 普通預金 1642590

運営委員募集

同窓会ではお手伝いいただける運営委員を募集しています。ご希望の方はホームページからご連絡ください。

同窓会の部屋

2022年9月18日・19日、第43回打越祭にて同窓会の部屋を開催しました。写真展示と、今治タオル・ネクタイ・ポロシャツの販売を行いました。

台風14号の中、大勢の卒業生にご来場いただき、感謝申し上げます。

総務委員長 村椿 泰彦（56期）



編集後記

コロナ禍で2年遅くなりましたが、本年6月11日（土）に100周年記念総会・懇親会を盛大に開催する事ができました。また、フェイスブックグループ「銅像山通信」は1000名を超えるグループとなり、卒業生の交流が深まっております。更に、広報誌「銅像山通信」も内容を一新することに致しました。卒業生の近況報告にフォーカスした内容となっております。今後は卒業生の皆様のご意見等を取り入れて参りますので、ホームページよりご連絡ください。

今後は毎年12月発行を予定しています。よろしくお願い致します。

<http://www.douzouyama.com/contact/>
フェイスブックグループ
「銅像山通信」



広報委員長 星 淳一（59期）